

〈10〉 ま と め

今年度の取り組みによって、生徒たちに次のような変化が見られるようになった。

1. 生徒の運動への取り組みが積極的になってきた。
 - ・各運動種目のそれぞれが持つ楽しさを味わわせることができその結果運動することへの意欲が現われてきた。
 - ・運動を楽しむだけの運動機能が身に付いてきた。
 - ・機能の向上に従って、運動への自信が生れてきた。
2. 休憩時間に運動をしている生徒の姿が見られるようになってきた。
 - ・運動の具体的な楽しみ方がつかめてきた。
 - ・自分でできる運動ができた。
3. 自分の体重・食事を意識する生徒が出てきた。
 - ・自分の肥満を自覚した。
4. 保護者の、子供の身体への意識が高まりつつあり、家庭で食事・運動などについて考えるようになってきた。
 - ・子供の実態が分かってきた。
 - ・保護者が子供のために何かしようという意識を持ち始めた。

以上である。

Ⅲ 反省と課題

今年度の取り組みを振り返り、次のようにまとめた。

1. 運動経験の積み重ね
各学習場面では、生徒にいろいろな運動を体験させることができた。特に保健体育科では、時間を確保し、昨年までと違った継続的な指導を行なうことができた。また、行事でも、交流運動会や校外宿泊学習などは、今までなかなか体験させることができなかったことを盛り込むことができた。
朝の活動での運動は、保健体育の学習とのつながりある学習場面を設定したり、目当てを持たせた持久走への取り組みをしたりして生徒の運動への意欲を高めることはできた。しかし、継続的な指導という点では、やや不十分であった。
部活動は、ほぼ計画に従って実施した。指導者を固定したことでそれぞれの部で指導の一貫性を持たせることができた。しかし、計画自体が、月に2、3回で、もっと増やしていけないか検討してみる必要がある。
運動経験を積み重ねることで生徒は変容していくという感触は、